

名古屋競馬場における薬物陽性馬の発生について (第1報)

平素より競馬事業の運営につきましては、ご協力とご理解賜り誠にありがとうございます。

さて、当組合において、競走馬のレース後の尿検査におきまして、(公財)競走馬理化学研究所から一部に薬物陽性という検査結果が出たとの通報を受けましたので、公表いたします。

検出されたのは、禁止薬物であるカフェインであります。その原因につきましては、現在調査中であり詳細が判明次第速やかにご報告いたします。

記

1 開催年月日 平成 27 年 3 月 12 日 (木) 名古屋競馬 第 26 回 第 4 日

2 出走レース 第 4 レース サラ系 C-9 組 1400m

3 該 当 馬 馬名：スリーエアウィーク号

性別：騏 年齢：5 歳

かわにしつよし

所属厩舎：川西 毅

4 これまでの経緯

3 月 19 日 (木) (公財)競走馬理化学研究所から報告 (カフェイン反応陽性)
農林水産省、地方競馬全国協会、J R A、港警察署へ報告

3 月 20 日 (金) (公財)競走馬理化学研究所から予備検体(B 検体)検査結果報告
(カフェイン反応陽性)

港警察署へ捜査依頼及び厩舎所属馬の追加検査承諾を得る。

5 組合の対応

(1) 公正競馬確保のため 3 月 24 日 (火) から開催予定の第 27 回名古屋競馬に出走予定の川西厩舎所属馬 16 頭に対する検査を実施することとし、採尿 (採血) した検体を (公財)競走馬理化学研究所に送付し、検査を依頼します。

(2) 検査結果は 3 月 23 日 (月) 中には出る予定であるため、検査結果を待つて出走の可否を判断することとします。

(3) 3 月 24 日 (火) に関係者を集め、公正競馬確保への注意喚起を行うとともに、原因究明に努め、その結果を踏まえて再発防止策を講じることとします。

※カフェインの主な機能

- ・覚醒作用・血管拡張作用・交感神経刺激 (基礎代謝促進)・胃酸分泌促進作用
- ・利尿作用
カフェインの効能としては、眠気覚ましなどの興奮作用や尿の排出を促す利尿作用などが広く知られていますが、このほかにも「自律神経の働きを高める」「集中力を高め作業能力を向上させる」「運動能力を向上させる」など、様々な効果が明らかになっています。

なお、現在、原因調査のため、厩舎地区における取材はできません。ご承知ください。